

令和5年度 第73回卒業証書授与式

3月8日(金)、令和5年度第73回卒業証書授与式を行いました。昨年度までと異なり、今年度は来賓(地域の方々等)にもご臨席いただき、卒業生の門出を祝っていただきました。

「制約をチャンスに変える。」という言葉、式の中で卒業生に伝えました。この言葉は、見崎中出身のコピーライター堤 藤成(つつみ ふじなり)さんが、その著書で述べられている言葉です。「制約があるからこそ工夫が生まれ、逆に制約が味方し、夢が実現していく。」卒業生の皆さんが、今後の人生で「制約をチャンスに変える。」ことを願っています。

【卒業生代表答辞(※抜粋)】

春に入り、桜の蕾は新たな希望をふくらませています。私たち見崎中学校卒業生48名は、この見崎中学校を旅立つこととなりました。時が経つのは本当に早く、私たちが入学して3年が経ち、あの日の日常がとても懐かしく感じられます。…

また、今日という日にここまでたどり着くことができたのは、家族が15年間私たちを見守ってくれたおかげです。苦しいことや辛いことがあっても、決して一人ではありませんでした。どんなときも一緒にいてくれたことに、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

最後に、3年間を共にし、今日卒業するみんな。今日までの一日一日の思い出は、大人になっても大きな財産になると思います。これまでに苦しいことや辛いことをたくさん経験してきたと思いますが、苦しみ抜いたからこそ強くなることができました。…

私たちは今日ここで別れ、それぞれの夢に向かって歩いていくと思います。私は見崎中学校に入学して、みんなと出会えて本当に良かったです。本当にありがとうございました。これまでに楽しんだ3年間を絶対に忘れないでください。そして、私たちのふるさとはこの見崎中学校であることを忘れないでください。

これを別れの言葉とします。

令和6年3月8日 卒業生代表



【在校生代表送辞(※抜粋)】

瞳を閉じれば、先輩方と過ごした2年間のことが、懐かしく思い出されます。先輩方は新型コロナウイルスの影響により、大切な時間を多く失ってしまったことでしょう。しかしそのような中でも、目の前のことに一生懸命に取り組まれ、私達にたくましい背中をたくさん見せてくださいました。その姿は、私達在校生にとって、常に憧れの的でした。

…見崎中学校は、みさき学園となっても変わることのない皆さんのふるさとです。いつでも顔を見せにきてください。私達は先輩方をいつまでも応援しています。…

令和6年3月8日 在校生代表

「学びの転換」を進めます！

いよいよ約1年後には、義務教育学校「八女市立みさき学園」が開校となります。現在、川崎小、忠見小と一緒に教育課程の作成作業に入っています。9ヵ年を通して子どもたちを育てる義務教育学校の利点を活かし、様々な教育活動を行っていきたく考えています。

まず、来年度はその先駆けとして以下の取組を行います。文書でお知らせしていましたが、再度、その趣旨をご承知ください。

より「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、定期考査を廃止し、単元(知識・技能、総合)テストや実技テストを効果的に実施します。

今年度の「全国学力・学習状況調査結果(3年生)質問紙結果」から、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」への回答で、「よくしている」「ときどきしている」の合計が、全国55.0%に対し本校は45.2%と1割程度低い状況にあります。このことは、今年度に限ったことではなく、例年の傾向です。

定期考査の勉強が、「一夜漬けのテスト対策」「テスト前だけの勉強」「ワーク等を終わらせることで精一杯」になっているのではないのでしょうか。

生成AIの発展により、知識を覚えるだけの学力は、その価値が低下していています。今後は、自ら課題を見つけ、その解決方法を考え、実行していく力が、より大事になっていきます。そのためにも、定期考査前のその場しのぎのテスト対策ではなく、毎日の主体的な家庭学習の習慣づけがより重要となります。

教科担当の教員も、単元テスト等によって、一単元もしくは複数単元ごとに子どもたちの理解度、達成度を把握することができるため、その結果が、評価・評定の資料となるだけでなく、授業改善の有効な資料として活用することができます。

以上のような趣旨のもと、来年度、より「主体的・対話的で深い学び」を実現するために定期考査を廃止し、単元(知識・技能、総合)テストや実技テストを効果的に実施します。

なお、実力テストについては、1、2年生は年間3回から4回に増やし、3年生は今までと同様、年間6回実施して、入試等に対応できるようにしています。保護者の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

2年生防災教育、今年も取り組みました!!

昨年度から、2年生「総合的な学習の時間」の一環として、防災教育を行っています。

今年度も事前の学習を行った上で、3/1(金)に防災士の方や八女市防災安全課の方を招き、HUG(避難所運営ゲーム)を行いました。子どもたちは、自分たちが避難所の担当職員となったときにどのような判断を迫られるか、自分事として取り組んでいました。

平成24年の北部九州豪雨被害を忘れずに、「地域とともにある学校」をめざし、今後も防災教育を本校2年生の総合的な学習の時間の核としたいと考えています。

